

1. 事業評価説明シート

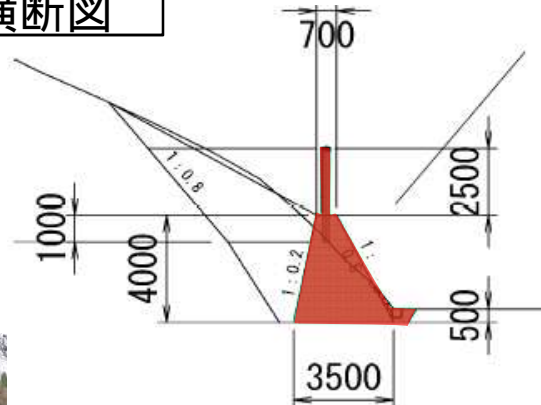
<p>事業名</p>	<p>急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業(国補)]</p>	<p>事業箇所</p>	<p>北杜市高根町長澤</p>	<p>地区名</p>	<p>窪長沢の2(くぼながさわの2)</p>	<p>事業主体</p>	<p>山梨県</p>															
<p>(1) 事業概要</p> <p>課題・背景</p> <ul style="list-style-type: none"> 窪長沢地区は、山梨県北西部の北杜市高根町に位置し、人家及び避難経路である市道高根長澤18号線を含む急傾斜地である。 当該斜面は、平均斜面高37m、平均勾配31度の急傾斜地であり、平成21年3月30日には土砂災害警戒区域に指定されている。 保全対象区域には、保全人家7戸、北杜市道高根長澤18号線(うち避難路L=50m)があり、当該斜面が崩壊した場合には甚大な被害を及ぼすことが予想され、その対策が急務である。 <p>整備目標・効果</p> <p>主要目標 崖崩れ被害の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の災害実績、緊急度、災害発生の危険度：12点 10点以上 人家一戸当りの被害軽減額：43百万円/戸 39百万円/戸以上 災害時重要公共施設：無 保全対象(人家7戸、避難路：市道高根長澤18号線L=50m)：評価基準値 <p>副次目標 -</p> <p>副次効果 -</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地法第12条により、行政が行うことが妥当。 <p>事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。 <p>経済妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>費用便益費 便益(B)/費用(C) = 2.1 > 1.0</p> <ul style="list-style-type: none"> 便益(B) = 305百万円、 費用(C) = 148百万円 <p>事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。 <p>整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 地形・地質状況から最も効果的・経済的な工法とした。 <p>環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 法面全体の抑止工ではなく防護工で、極力斜面は現状のままにし、環境へ配慮する。 <p>事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 地元要望に基づいており、地域の同意は得られている。 <p>総合評価 [貢献度ランク：a] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>																		
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>整備内容</p> <p>重力式擁壁工 L=75m H=4m 高エネルギー柵工 L=110m 崩落土砂防護柵 L=20m 法枠工A=1,050m²</p> <p>整備期間 平成27年度～平成31年度</p> <p>総事業費 約160百万円 (国費：76百万円(4.75/10)、県費：76百万円(4.75/10)、市：8百万円(0.5/10))</p> <p>全体計画 (年度別整備内容) (事業費)</p> <table border="1"> <tr> <td>平成27年度</td> <td>地形測量、地質調査、詳細設計</td> <td>30百万円</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>用地測量、用地取得・補償、(重力式擁壁) 工事</td> <td>30百万円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>(重力式擁壁・高エネルギー柵・法面保護) 工事</td> <td>40百万円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>(重力式擁壁・高エネルギー柵・法面保護) 工事</td> <td>30百万円</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>(重力式擁壁・高エネルギー柵・法面保護) 工事</td> <td>30百万円</td> </tr> </table> <p>既整備内容・期間・事業費</p> <p>なし</p>				平成27年度	地形測量、地質調査、詳細設計	30百万円	平成28年度	用地測量、用地取得・補償、(重力式擁壁) 工事	30百万円	平成29年度	(重力式擁壁・高エネルギー柵・法面保護) 工事	40百万円	平成30年度	(重力式擁壁・高エネルギー柵・法面保護) 工事	30百万円	平成31年度	(重力式擁壁・高エネルギー柵・法面保護) 工事	30百万円	<p>【事業位置図等】</p>			
平成27年度	地形測量、地質調査、詳細設計	30百万円																				
平成28年度	用地測量、用地取得・補償、(重力式擁壁) 工事	30百万円																				
平成29年度	(重力式擁壁・高エネルギー柵・法面保護) 工事	40百万円																				
平成30年度	(重力式擁壁・高エネルギー柵・法面保護) 工事	30百万円																				
平成31年度	(重力式擁壁・高エネルギー柵・法面保護) 工事	30百万円																				

2. 添付資料シート

斜面状況写真



標準横断面図



② 保全人家



③ 保全人家



④ 保全人家

至 小淵沢 ←

〔県単独事業〕：県単独急傾斜地崩壊対策事業

全体計画延長 L=118m

重力式擁壁工 L=75m

← 高エネルギー柵工 L=110m →

崩落土砂防護柵 L=20m

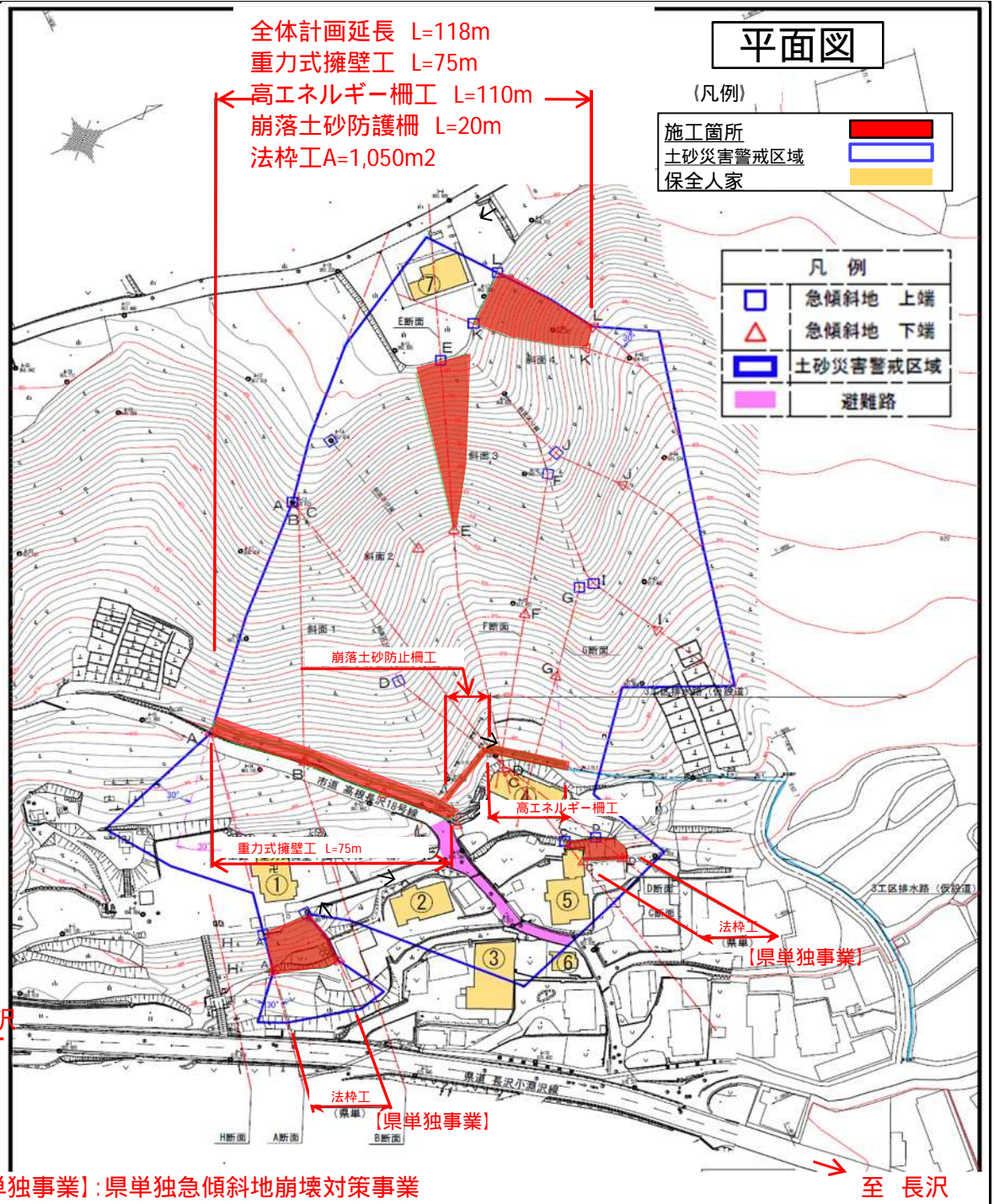
法枠工 A=1,050m²

平面図

(凡例)

施工箇所	
土砂災害警戒区域	
保全人家	

凡例	
	急傾斜地 上端
	急傾斜地 下端
	土砂災害警戒区域
	避難路



→ 至 長沢